

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

62

(対8・0%)や日本ない。(対5・8%)と比べ極めて悪い。

環境技術を推進

人口当たりの新型コロナによる死者数が欧州域内では際立つての一部分として「未来パッケージ」と名付けた(CO₂)を排出しない

再生可能エネルギー由来の「グリーン」な水素を国内およびEU域

境対策と人工知能や量

いう水素戦略である。

子といった次世代技術分野への追加投資だ。注目は、EU目標であり、00年代に入ってから脱化石、脱原子力

素エネルギーの研究開発に多額の資金を投

じ加速する。

同時に欧州理事会議長国として「欧州グリーンディール政策」を率先して進め、拡大が期待される水素市場の標準化や規格化の道筋を立てることを狙っている。さらに今後エネルギー需要が確実に増加するアフリカ諸国などへの積極的な水素技術の輸出を展望しており、輸出大国ドイツの次の主要産業に化ける可能性もあるだろう。

(金曜日に掲載)

欧州議長国に

ドイツは7月1日に欧州理事会の議長国に就任した。欧州連合(EU)全加盟国が6カ月ごとに輪番制で担うポストだが、1月に英国がEUから離脱、2月以降の新型コロナウイルスパンデミックによる混乱という非常に困難な時期に欧州のかじ取りを担うることになった。

COVID-19の感染拡大によりEU経済は大きな打撃を受けて

独、グリーン水素で経済再生



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センターフェロー/ユニットリーダー(海外動向ユニット) 澤田 朋子

00年ミュンヘン大学政治学部大学院修了(国際政治学専攻)。帰国後はIT系ベンチャー企業でウェブマーケティング事業の立ち上げに参加。13年より現職。

「未来パッケージ」の主要な投資領域と額

| 投資分野 | 金額 |
|-------------------|-------------------------|
| 輸送(モビリティ) | 260億5,000万円計(3兆1,260億円) |
| 電気自動車メーカーへの研究開発助成 | 20億計(2,400億円) |
| 充電ステーション整備・蓄電池開発 | 25億計(3,000億円) |
| 再生可能エネルギー | 110億計(1兆3,200億円) |
| 水素戦略 | 70億計(8,400億円) |
| 国際連携 | 20億計(2,400億円) |
| 重点技術・デジタル化 | 110億計(1兆3,200億円) |
| 人工知能 | 20億計(2,400億円) |
| 量子技術 | 20億計(2,400億円) |

出典:「未来パッケージ(Zukunftspaket)」2020年6月3日

もともとドイツはEU加盟国の中でも環境先進国として知られており、00年代に入ってから脱化石、脱原子力素エネルギーの研究開発に多額の資金を投

じ加速する。

同時に欧州理事会議長国として「欧州グリーンディール政策」を率先して進め、拡大が期待される水素市場の標準化や規格化の道筋を立てることを狙っている。さらに今後エネルギー需要が確実に増加するアフリカ諸国などへの積極的な水素技術の輸出を展望しており、輸出大国ドイツの次の主要産業に化ける可能性もあるだろう。

(金曜日に掲載)